

# 第3章 良好な景観の形成に関する目標・方針

(景観法第8条第3項関係)

## 1. 基本目標

勝山市の景観は、遠景、背景となる山並みと、中景、近景にある集落や田園の風景を一体に眺めることができるパノラマ状の「眺望景観」が大きな特徴であり、魅力となっていて、その保全と活用が求められています。こうした、ふるさとの原風景や美しい眺望景観及び歴史的まち並みを守り、育て、さらに磨いて、後世に残すことができるよう、勝山市景観計画の基本目標・基本方針を次のように定めます。

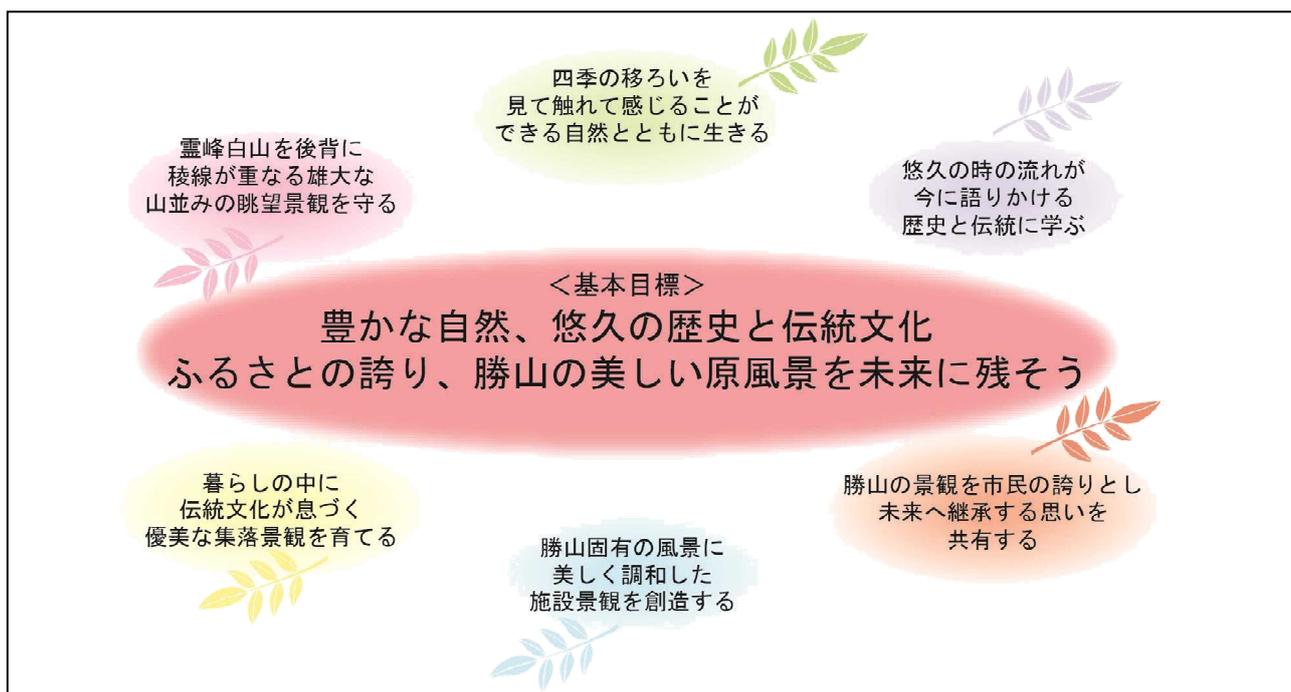


図 3-1.景観計画の基本目標と基本方針



写真 3-1.えちぜん鉄道沿線からの眺望



写真 3-2.弁天緑地



写真 3-3.勝山左義長



写真 3-4.木根橋の集落景観



写真 3-5.福井県立恐竜博物館



写真 3-6.走りやんこ

## 2. 基本方針

---

基本目標を実現するため、次の6つの基本方針を設定して景観づくりを進めていきます。

### ▶ 霊峰白山を後背に稜線が重なる雄大な山並みの眺望景観を守る

- ・加越国境や越前中央山地などの美しい緑や山並みを守ります。
- ・市民の誇りである癒しの眺望景観を守ります。
- ・美しい眺めが楽しめる場所を大切にします。

### ▶ 四季の移ろいを見て触れて感じることができる自然とともに生きる

- ・九頭竜川の豊かな流れと田園風景が調和した自然景観を守ります。
- ・九頭竜川や市内の河川の美しい流れ、豊かな緑、多様な生態系を守ります。

### ▶ 悠久の時の流れが今に語りかける歴史と伝統に学ぶ

- ・中心市街地では、町家や神社仏閣、七里壁などの特徴的な景観資源を活かし、勝山らしさが感じられる、魅力ある市街地景観を守り育てます。
- ・平泉寺区の周辺では、地区の歴史性と周辺の自然環境を背景とした情緒豊かな平泉寺固有の集落景観を守り育てます。

### ▶ 暮らしの中に伝統文化が息づく優美な集落景観を育てる

- ・周辺の自然と調和した緑豊かで落ち着いた住宅地景観を守り育てます。
- ・鎮守の森や田園、河川等の身近な自然をはじめ、年中行事等の伝統文化を活かしながら、地区ならではの文化が薫る集落景観を守り育てます。

### ▶ 勝山固有の風景に美しく調和した施設景観を創造する

- ・道路、公園、河川等の施設においては、市民に親しまれ、来訪者をひきつける勝山らしい施設景観を育てます。
- ・主要な歩行者空間やシンボル性の高い施設において、勝山らしい景観を育てます。

### ▶ 勝山の景観を市民の誇りとし未来へ継承する思いを共有する

- ・景観づくりへの参加意識を啓発します。
- ・市民、事業者、行政が協力して、景観づくりに取り組む機会を設けます。
- ・景観づくりに関わる活動に対する支援等を行います。

### 3. 分類別景観形成方針

#### (1) 景観の分類

勝山市の景観は、市内の様々な場所から一体的に眺めることのできるパノラマ状の「眺望景観」が大きな特徴となっています。この眺望景観は、様々な種類の景観資源と土地利用から出来ており、眺望景観を構成する要素として、下図のように、広がりのある「面的景観」と、骨格となる線的な「軸的景観」に大別することができます。そして、様々な景観特性や土地利用の状況から、面的景観はさらに3つ、軸的景観は6つに分類することができます。

この章では、基本目標・基本方針に加え、これら分類別に方針を定めます。

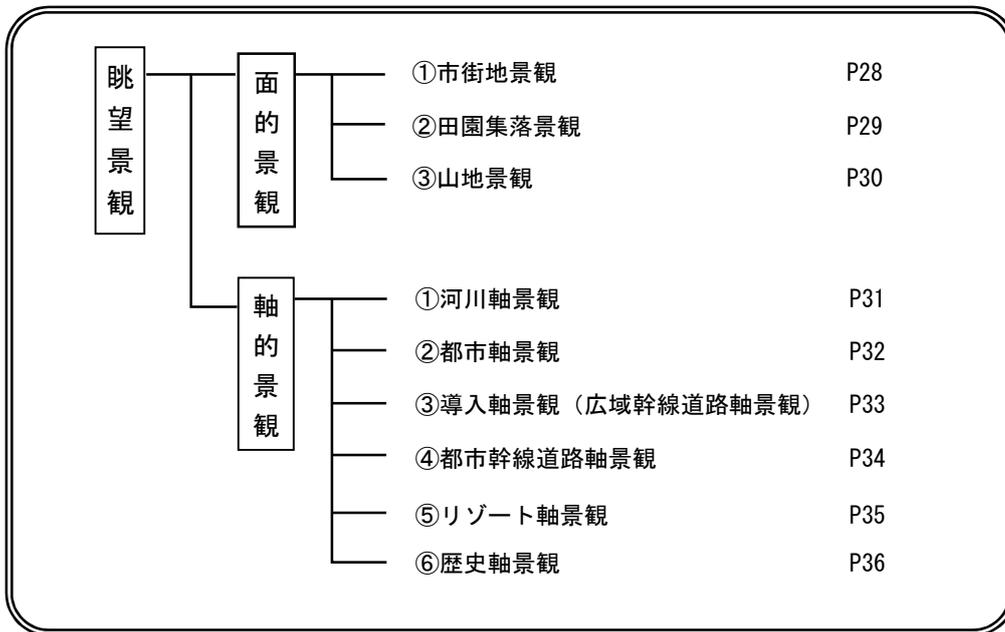


図 3-2.勝山市の景観の分類

面的景観とは、眺望景観を構成する広がりのある景観要素で、住宅地や商業地、あるいは山地といった同一の土地利用で構成される面的な地区の景観をいい、都市機能が集積し、様々な都市活動が行われている「①市街地景観」、その周辺に点在する農地や農村集落による「②田園集落景観」、その外周にある加越山地や越前中央山地等による「③山地景観」に分類できます。

軸的景観とは、眺望景観を構成する骨格となる線的な景観要素で、主要な河川や道路等、広域に連続した景観が眺められ、面的景観の骨格を形成したり、景観の核となる地域を連絡する役割を担うものをいいます。軸となるのは河川と道路で、前者には九頭竜川とその支流による「①河川軸景観」があり、後者には、勝山市の顔となるシンボル性の高い道路軸として、えちぜん鉄道勝山駅と中心市街地を連絡する元禄線を軸とする「②都市軸景観」、勝山インターチェンジや周辺の市町から市街地への広域的なアクセス道路を軸とする「③導入軸景観（広域幹線道路軸景観）」、市内各地を連絡し、勝山市の都市の骨格を形成する道路を軸とする「④都市幹線道路軸景観」、リゾート地や観光地を連絡する道路を軸とする「⑤リゾート軸景観」、歴史資源を連絡する道路を軸とする「⑥歴史軸景観」に大別できます。

図 3-3 は、これら面的景観と軸的景観の位置図になります。

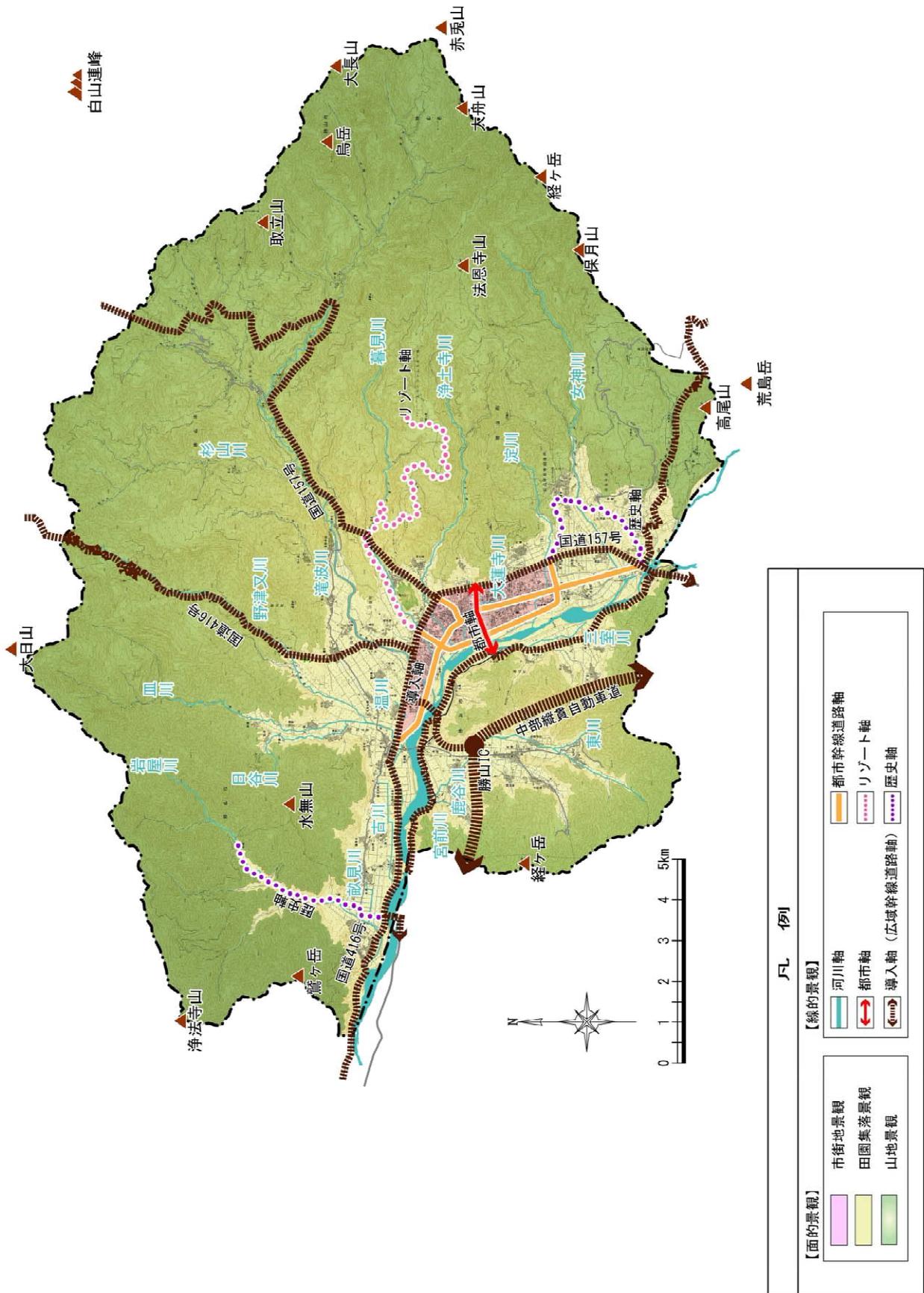


図3-3. 勝山市の景観の分類 位置図

## (2) 各景観の特性と景観形成方針・行為

勝山市の大きな特徴である「眺望景観」の特性と景観形成方針、取り組みについては次のとおりです。

### 眺望景観 眺望景観を守る

連続したまち並みや田園、河川などの近くの景色と、背景となる山並みなど、遠くを見渡した眺めの景観



写真 3-7.鹿谷町保田から見る白山方面(図 2-3 眺望景観②)

#### ■ 眺望景観の景観特性と景観形成方針

勝山市の素晴らしい眺望景観を保全するため、その要素となっている、九頭竜川や田園集落、山並み等を保全します。

#### ■ 取り組み

主要な視点場となる国道 416 号、国道 157 号、えちぜん鉄道沿線等において、建物や屋外広告物等の高さや色彩等に対して、適切な制限や誘導を行うとともに、松枯れの発生した山林や耕作放棄地に対して適切な管理を促進します。

また、眺望景観をより多くの人が気軽に楽しむことができるように、市民が誇りに思っている眺望景観のビューポイント(視点場)を設定し、その周辺の電線類の整理や休憩施設の配置を検討します。

#### ■ 配慮が求められる主な景観要素・行為

- 大規模な建築物・工作物の建築
- 無秩序な土地の開発
- 荒廃した山林等の放棄

眺望景観を構成する「面的景観」及び「軸的景観」の各要素の特性と景観形成方針、取り組みについては次のとおりです。

### 面的景観—① 市街地景観を守り育てる

古くからの文化や歴史が感じられる中心市街地の景観



写真 3-8.本町通りの町家の佇まい

#### ■ 中心市街地景観の景観特性と景観形成方針

勝山市の中心市街地は、城下町の面影を残す町家や伝統的建造物が多く残り、左義長や年の市が開催されるなど、歴史的景観が形成されている地域です。

本町通り及びその周辺地区においては、伝統的まち並み景観の保全と活用を図り、歴史的まち並み景観の創出を進めます。

#### ■ 取り組み

主要な歩行者空間における照明施設の整備や、シンボル性の高い施設のライトアップ等によって魅力ある夜間景観の創出を図ります。

人口減少、少子高齢化の加速に伴い、喫緊の課題となっている空き家・空き店舗・空き地については、景観上のみならず、防災・防犯、衛生・生活環境など多岐にわたり影響を及ぼすことから、「勝山市空き家情報バンク」などを利用した空き家等の活用促進をはじめ、中心市街地のまち並みと調和したポケットスペースとしての活用や維持管理の推進など、住民や事業者、市民ボランティアなどと連携し景観保全に努めます。

#### ■ 配慮が求められる主な景観要素・行為

- 奇抜な意匠・色彩等の建築物の建築
- 空き家・空き店舗・空き地の放置
- 奇抜な意匠・色彩等の屋外広告物の設置

## 面的景観② 田園集落景観を守り育てる

集落や田畑、背後の斜面緑地等で構成され、潤いのある田園集落景観



写真 3-9. 田園と布市集落と越前甲(大日山) (図 2-3 眺望景観⑦)

### ■ 田園集落景観の景観特性と景観形成方針

田園集落景観は、集落周辺の面的に広がる農地と、まとまりある家並みと背景の山並みや鎮守の森などによって構成され、勝山市の眺望景観を構成する大切な要素となっています。

これらの集落においては、農家タイプの伝統的な民家が多く残っており、これら民家と調和した建築様式の誘導や集落内の緑の保全、育成による景観の形成を促進します。

### ■ 取り組み

農業の後継者不足による耕作放棄地などについては、担い手への農地集積・集約化による農地の効率的利用を促進し、条件不利地には景観作物の作付けなど農地の利活用に取り組み、行政と市民が連携した景観の保全に努めます。

### ■ 配慮が求められる主な景観要素・行為

- 奇抜な意匠・色彩等の建築物の建築
- 耕作放棄地の放置
- 奇抜な意匠・色彩等の屋外広告物の設置

## 面的景観—③ 山地景観を守り育てる

四季折々に変化し、豊かな自然を感じる山地景観



写真 3-10.新緑の取立山歩き(取立山から見る村岡町や荒土町方面)

### ■ 山地景観の景観特性と景観形成方針

市境を構成する北部の加越山地や南部の越前中央山地の山並みは、勝山の眺望景観を特徴付ける重要な要素です。

この豊かな自然景観を保全するため、無秩序な開発の抑制や緑地の保全に努めます。

### ■ 取り組み

白山国立公園、奥越高原県立自然公園では、自然公園法の規定により景観的な対応を図り景観を保全するとともに、里山や山間集落においては、松枯れや自然災害、山林の放棄などにより、集落の背景となる緑豊かな山林の景観が失われることがないように、適切な山林の保全と管理に努めます。

### ■ 配慮が求められる主な景観要素・行為

- 大規模な建築物・工作物の建築
- 無秩序な土地の開発
- 荒廃した山林等の放棄

## 軸的景観—① 河川軸景観を守り育てる

命を育む母なる大河 九頭竜川とその支流の景観



写真 3-11.鹿谷町保田から見る九頭竜川(図 2-3 眺望景観②)

### ■ 河川軸景観の景観特性と景観形成方針

勝山市のほぼ中央を流れる九頭竜川と、そこに流れ込む数多くの河川において、豊かな緑や多様な生態系を保全するとともに、水質の浄化や河川美化により一層の河川環境の改善を進めます。

### ■ 取り組み

ホテルや魚類等の生息環境に配慮した護岸整備や親水性の向上に努め、親水空間と緑のネットワークづくりを促進します。

### ■ 配慮が求められる主な景観要素・行為

- 汚水の排出
- 廃棄物等の不法投棄
- 無秩序な植栽等の伐採

## 軸的景観—② 都市軸景観を守り育てる

えちぜん鉄道勝山駅と中心市街地を連絡する道路とその沿線の景観



写真 3-12. えちぜん鉄道勝山駅と市街地を繋げる勝山橋

### ■ 都市軸景観の景観特性と景観形成方針

勝山駅から市街地に架かる勝山橋からは、九頭竜川と弁天緑地を近景に、福井県立恐竜博物館、越前大仏が望め、さらに越前甲(大日山)・加越国境・荒島岳等の遠景が広がる良好な視点場となっています。また、来訪者を迎えるまちの玄関口として、市民の散策の場として親しまれています。さらに道路は、勝山橋から元禄線へ続きます。元禄線は、本町通りや河原町通りなどの歴史的なまち並み景観を有した道路と交差します。これら歴史的なまち並み景観と調和した、都市の魅力や活力が感じられる風格のある道路景観、沿道景観を創造します。

### ■ 取り組み

勝山橋から繋がる元禄線においては、統一感のある沿道の建築物や、屋外広告物の整理誘導、シンボリック※な沿道整備などに努めます。

勝山市の鉄道玄関口であるえちぜん鉄道勝山駅周辺では、平成21年(2009)度から国の登録文化財である勝山駅舎を核として、景観に配慮した交通結節点としての整備を行いました。

### ■ 配慮が求められる主な景観要素・行為

- 奇抜な意匠・色彩等の建築物の建築
- 奇抜な意匠・色彩等の屋外広告物の設置
- 大規模な建築物・工作物の建築

※シンボリック:象徴的である様。

## 軸的景観—③ 導入軸景観（広域幹線道路軸景観）を守り育てる

中部縦貫自動車道、えちぜん鉄道などの広域的な交通施設とその沿線の景観



写真 3-13. 県道勝山インター線から見る加越山地 (図 2-3 眺望景観⑤)

### ■ 導入軸景観の景観特性と景観形成方針

勝山市の骨格となる主要な導入軸として、えちぜん鉄道や中部縦貫自動車道・県道勝山インター線・国道416号・国道157号などの広域幹線道路を位置付けます。

周辺の市町からのアクセス路となる導入軸は、豊かな自然と歴史に恵まれた勝山市らしさを感じさせる視点場として、美しく風格のある交通施設景観づくりを促進します。

### ■ 取り組み

景観の阻害となる屋外広告物等の整理誘導や道路施設等の配置や高さなど周辺の田園景観、山地景観との調和に配慮し、沿道から眺める眺望景観を維持・保全していきます。

九頭竜川に架かる勝山恐竜橋（県道勝山インター線）では、上流側に見える山並みへの眺望を守るため、橋上の街灯を下流側に配置しています。

### ■ 配慮が求められる主な景観要素・行為

- 大規模な建築物・工作物の建築
- 奇抜な意匠・色彩等の屋外広告物の設置
- 屋外における資材・土石等の集積

## 軸的景観—④ 都市幹線道路軸景観を守り育てる

導入軸から市街地を連絡する都市幹線道路とその沿線の景観



写真 3-14.郡町から村岡町寺尾方面の西縦貫線

### ■ 都市幹線道路軸景観の景観特性と景観形成方針

都市計画道路\*の縦貫線（県道勝山丸岡線）、西環状線等の都市幹線軸は、導入軸から市街地へ誘導する役割を果たしている道路です。そして、多くの来訪者の目に触れる道路であると同時に、私たち市民の生活道路でもあり、車窓や歩道から潤いと安らぎを感じられる空間形成を図ります。

### ■ 取り組み

沿道の建築物等の色彩やデザイン、外構の景観誘導を図り、歩道や滞留空間の緑化により、緑豊かな街路景観を形成します。

### ■ 配慮が求められる主な景観要素・行為

- 奇抜な意匠・色彩等の建築物の建築
- 空き家・空き店舗・空き地の放置
- 奇抜な意匠・色彩等の屋外広告物の設置

※都市計画道路：都市の基盤的施設として都市計画法に基づく都市計画決定による道路。

## 軸的景観—⑤ リゾート軸景観を守り育てる

法恩寺山周辺のリゾート地や福井県立恐竜博物館周辺の観光地と、導入軸を連絡する経路とその沿線の景観



写真 3-15.法恩寺山リゾート地から見る勝山盆地(図 2-3 眺望景観⑱)

### ■ リゾート軸景観の景観特性と景観形成方針

導入軸に位置付けられている東縦貫線からリゾート地に向かう市道5-21号線に入ると、田園風景が広がり、里山の風景と一体となって、かつやま恐竜の森(長尾山総合公園)に卵型の福井県立恐竜博物館が、視界に入ってきます。

そこからさらに法恩寺山に向かう市道5-47号線を進むと、市街地への視界が広がり、美しい眺望景観が望めます。リゾート軸として、これらの景観を保全し、リゾート地にふさわしい自然と一体となった美しい沿道景観を形成します。

### ■ 取り組み

勝山市の重要な景観要素のひとつである田園風景や、周囲の豊かな自然景観との調和を図ります。

### ■ 配慮が求められる主な景観要素・行為

- 大規模な建築物・工作物の建築
- 奇抜な意匠・色彩等の屋外広告物の設置
- 屋外における資材・土石等の集積

## 軸的景観—⑥ 歴史軸景観を守り育てる

白山平泉寺旧境内や旧木下家住宅等の歴史資源と、導入軸を連絡する経路とその沿線の景観



写真 3-16.勝山城博物館から見る平泉寺集落方面

### ■ 歴史軸景観の景観特性と景観形成方針

平泉寺町平泉寺区や北郷町上野区に向かうアクセス路である歴史軸は、周辺の田園景観・里山景観との調和に配慮した良好な沿道景観の形成を図り、豊かな自然の中で悠久の歴史や文化が感じられる景観づくりに取り組みます。

### ■ 取り組み

沿道の農地や林地、歴史的な風情を感じさせる佇まいに調和した景観の保全や、建築物などの色彩やデザイン・外構の景観誘導を図るとともに、屋外広告物のデザインも工夫することにより、良好な沿道景観を形成します。

### ■ 配慮が求められる主な景観要素・行為

- 奇抜な意匠・色彩等の建築物の建築
- 耕作放棄地の放置
- 奇抜な意匠・色彩等の屋外広告物の設置

## 4. 地区別景観形成方針

(景観法第 61 条関係)

勝山市には、自然、歴史、まち・集落施設などの優れた景観資源が数多く点在するだけでなく、その景観資源周辺の環境が一体となって面的な景観の広がりも見せています。

人々の暮らしの中で広がりを見せている各地区の景観は、勝山市を横断する九頭竜川と市街地周辺の田園集落景観や外郭の雄大な山並みで成り立つ、勝山市の誇る眺望景観の重要な要素となっています。

勝山市全域で景観の保全と形成を図っていくために、自分たちが暮らしている地区の特徴的な景観について考えてみるのが重要です。



写真 3-17.バンピラインから見る九頭竜川と市街地  
(図 2-3 眺望景観⑫)



写真 3-18.村岡山から見るかつやま恐竜の森  
(長尾山総合公園) (図 2-3 眺望景観⑨)



写真 3-19.豪雪時の東縦貫線



写真 3-20.道の駅「恐竜渓谷かつやま」での水遊び



写真 3-21.平泉寺町平泉寺から見る  
勝山城博物館と田園(図 2-3 眺望景観⑮)



写真 3-22.北谷町北六呂師の棚田

## (1) 勝山の景観を印象付ける重要な地区

勝山市では、景観の保全や景観形成のためのルールづくりを支援し、地区の同意を得ながら、景観形成地区に指定しています。景観形成地区では、地区ごとに詳細な景観形成方針及び行為の制限を定めるとともに、建築物を建築する場合などには届出を義務付け、地区・事業者・行政が協力し、それぞれの区域内的の景観を保全・創出し、地域に誇りと愛着が感じられる景観づくりを目指しています。

行政は、市民の主体的な取り組みを支援するとともに、特にこれらの地区においては、景観計画に基づく景観形成地区の指定や景観重要公共施設としての道路や河川整備など、景観計画で用意された色々な手法により積極的な景観形成を推進します。

特に勝山市の景観を印象付ける重要な対象場及び視点場の主要地区として、下のような13地区が挙げられ、景観の保全や景観形成を図っていく必要があります。これら地区のうち、「本町通り」と「平泉寺町平泉寺」の地区では既に、景観の保全や景観形成のために地域主体でのルールづくりが整っており、景観形成地区に指定されています。各地区の位置は下図のとおりです。

- |                       |                                      |
|-----------------------|--------------------------------------|
| ① 本町通り景観形成地区及び周辺地区    | ⑧ 旧木下家住宅周辺地区                         |
| ② 平泉寺区景観形成地区及び周辺地区    | ⑨ 弁天緑地周辺地区                           |
| ③ 法恩寺山リゾート地区          | ⑩ 北谷地区                               |
| ④ かつやま恐竜の森（長尾山総合公園）地区 | ⑪ 越前大仏周辺地区                           |
| ⑤ 幹線道路沿い眺望景観保全地区      | ⑫ えちぜん鉄道車窓からの眺望景観保全地区                |
| ⑥ 勝山駅周辺地区             | ⑬ 恐竜渓谷かつやまエリア地区<br>（道の駅「恐竜渓谷かつやま」周辺） |
| ⑦ 勝山インターチェンジ周辺地区      |                                      |

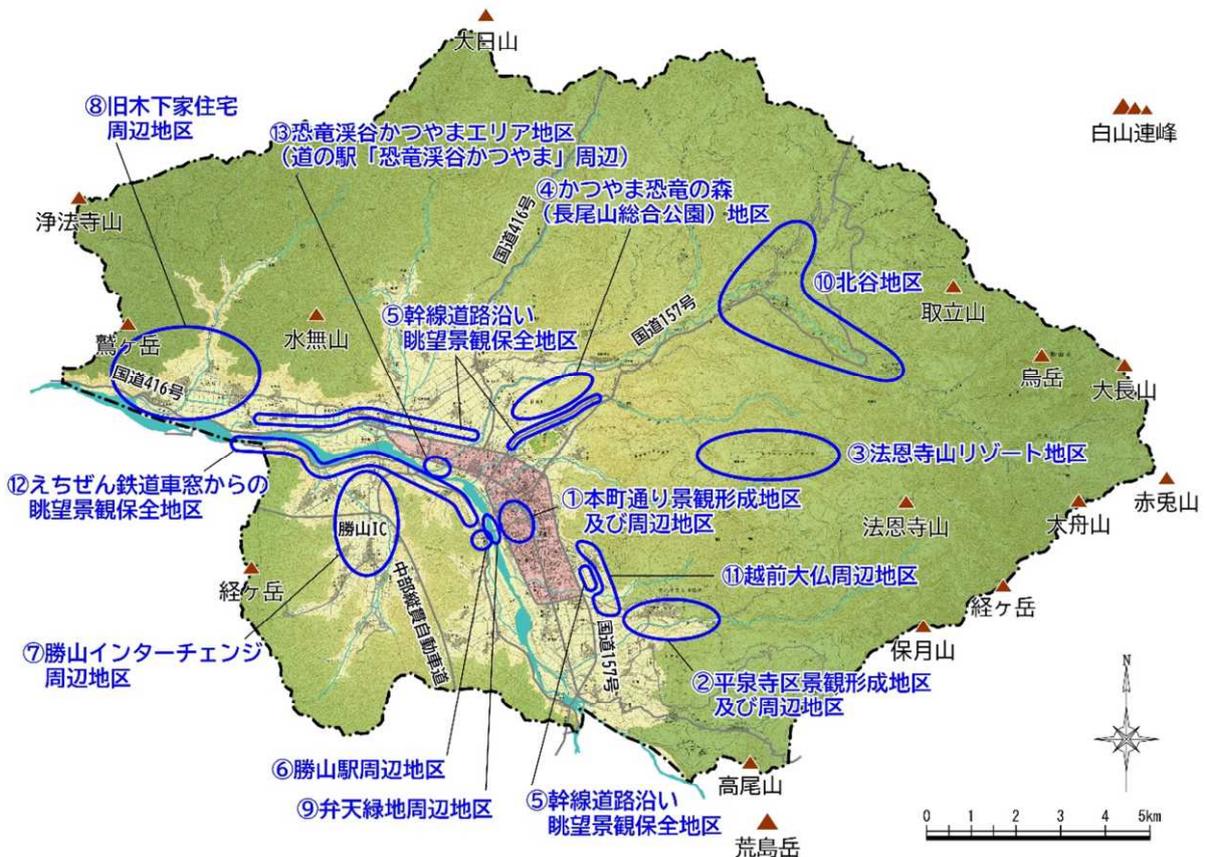


図3-4. 勝山市の景観を印象付ける地区

## (2) 景観形成地区

### ① 本町通り景観形成地区

(関連する分類別景観：市街地景観)

#### ■ 景観特性と景観形成方針

##### (景観特性)

本町通りは、七里壁の下段に広がる旧城下町の通りの一つで、通りに面して、伝統的な外観の住宅や店舗が残り、歴史的景観を形成しています。平成 20 年(2008)には「伝統的建築物の継承とこれら建物と調和のとれた潤いある景観形成に努める」として本町通り沿線地区である下袋田区、上袋田区、上郡区と勝山市は「まちなみ景観協定」を締結しています。

##### (景観形成方針)

旧城下町の面影を残した建築物を保全するとともに、歴史的景観に調和したまち並みの形成を促進します。区域内の主要な回廊や緑地は、景観重要公共施設として位置付け、歴史的なまち並みとの調和に配慮し、わかりやすい誘導サインの設置、ポケットスペースや趣のある灯りの配置などによる快適に回遊できる空間づくりを図ります。

本町通り景観形成地区の届出対象及び景観形成基準については、P61 から P65 をご参照ください。

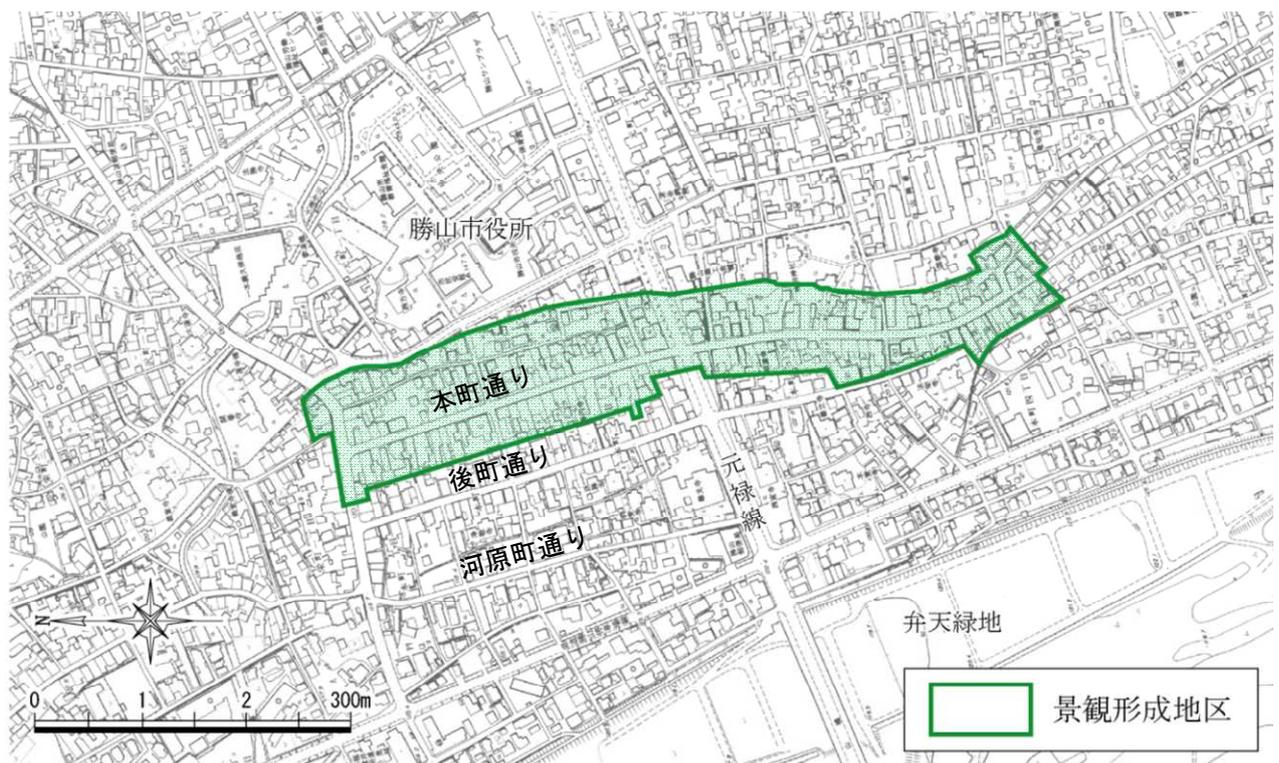


図3-5. 本町通り景観形成地区の区域

##### (今後の課題)

当時、城下町として本町通りとともに形成され発展した後町通りには、多くの職人が住んでいたといわれ、伝統的な外観の建物や寺院が点在しています。さらに西側の河原町通りは、かつて花街として栄え、今も当時の面影を残す建物が残るなど、本町通りの周辺地区は、本町通りとともに、旧城下町の面影を残した勝山市の歴史的景観が形成されている区域です。これらの建築物を保全するとともに、歴史的景観に調和したまち並みの形成を促進します。

■本町通りの景観を形成している取り組み事例



写真 3-23.伝統的建築物が並ぶ本町通りのまち並み



写真 3-24.伝統的建築物のお店



写真 3-25.伝統的建築物のお店



写真 3-26.伝統的建築物のお店



写真 3-27.伝統的建築物の住宅



写真 3-28.景観に配慮したお店の外観



写真 3-29.景観に配慮した住宅の外観



写真 3-30.本町通りのアクセントとなる建物



写真 3-31.景観に配慮した車庫の外観



写真 3-32.景観に配慮した区民会館の外観



写真 3-33.七里壁の石積み



写真 3-34.勝山城地と旧城下町を結ぶ坂道の一つ



写真 3-35.景観に配慮した自動販売機



写真 3-36.景観に配慮した街路灯

■本町通り周辺地区の景観を形成している取り組み事例



写真 3-37.旧料亭花月楼



写真 3-38.大清水

## ② 平泉寺区景観形成地区

(関連する分類別景観：田園集落景観・歴史軸景観)

### ■ 景観特性と景観形成方針

#### (景観特性)

平泉寺区は、国史跡白山平泉寺旧境内の指定地であり、中世の宗教都市として固有の歴史性を有し、周辺の田園風景や山地斜面と一体となった潤いのある集落景観を形成している地区で、平泉寺区と勝山市は「集落景観協定」を締結しています。

集落内の通り沿いには、連続した石垣があり、その上部には生垣が施されています。民家の敷地内には、住宅や土蔵、車庫など2棟以上の建物が配置されており、広い敷地と屋敷林等の緑、川から水を引いた池等により、ゆとりと落ち着きがあります。住宅や土蔵は、板張りや漆喰等の伝統的な外観の建物が多く現存しています。特に土蔵は、歴史的に庄屋の数が多く存在したためか、市内で一番多く土蔵が現存しています(図3-7)。奥越特有である軒先に「方杖<sup>ほうづえ</sup>」をもつ土蔵が多く、集落の家並みに一体感を与えるポイントとなっています(写真3-39)。また、通りの石垣の上にはお地蔵様が多く見られ、小さいお堂に安置されています(写真3-40)。お地蔵様は石垣と生垣が連続した通りと調和し、歩行者の心をなごませてくれています。花等も供えられ、住民の厚い信仰心をうかがうことができます(図3-7)。

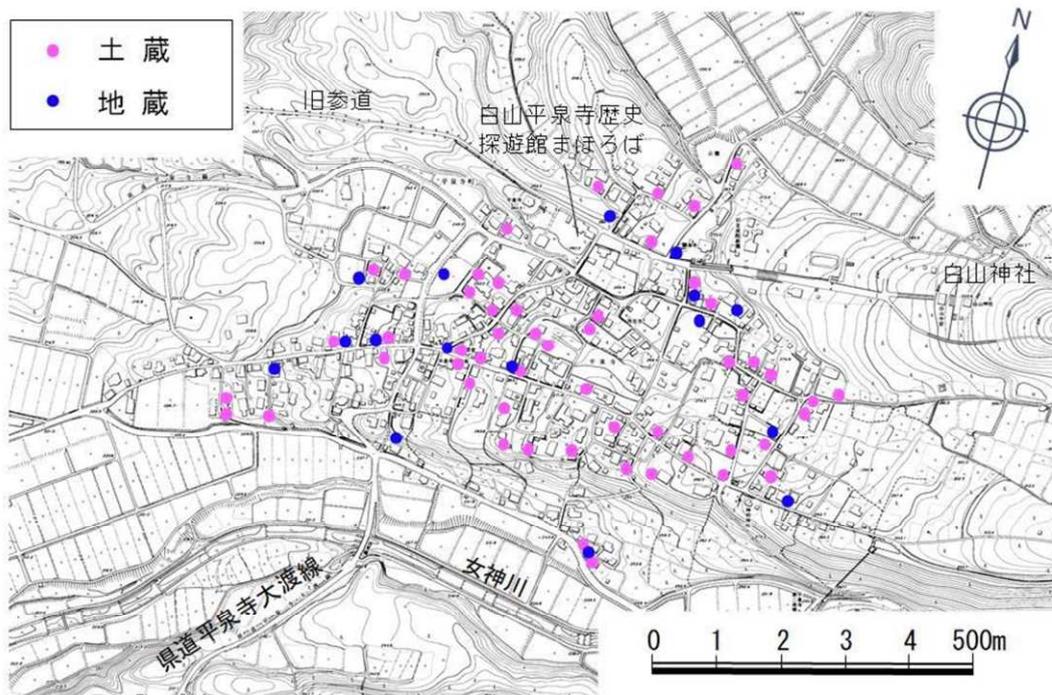


図3-7. 区域内の土蔵と地蔵の分布



写真 3-39.「方杖」\*をもつ土蔵  
※屋根を支えている部材

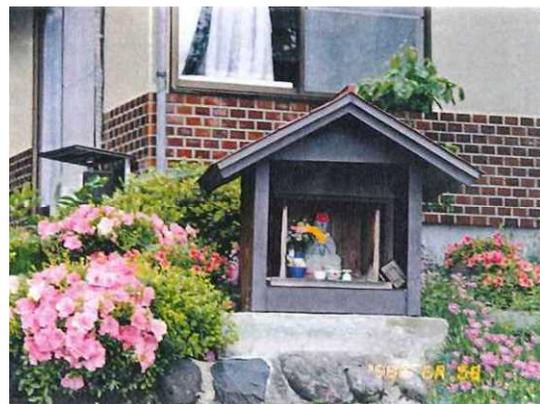


写真 3-40. 集落内の地蔵

(景観形成方針)

歴史的な史跡の保全とあわせ、豊かな屋敷林や歴史的建造物を保全するとともに、建築物や工作物の新築や改修にあたっては、歴史的景観に配慮した外観とします。また、道路や水路の改修にあたっては、景観重要公共施設の位置付けにより、自然石の石積みを基調とした改修を行い、歴史性を生かした施設づくり、平泉寺固有の石と緑を基調とした情緒豊かな集落景観づくりを促進します。

平泉寺区景観形成地区の届出対象及び景観形成基準については、P66 から P71 をご参照ください。

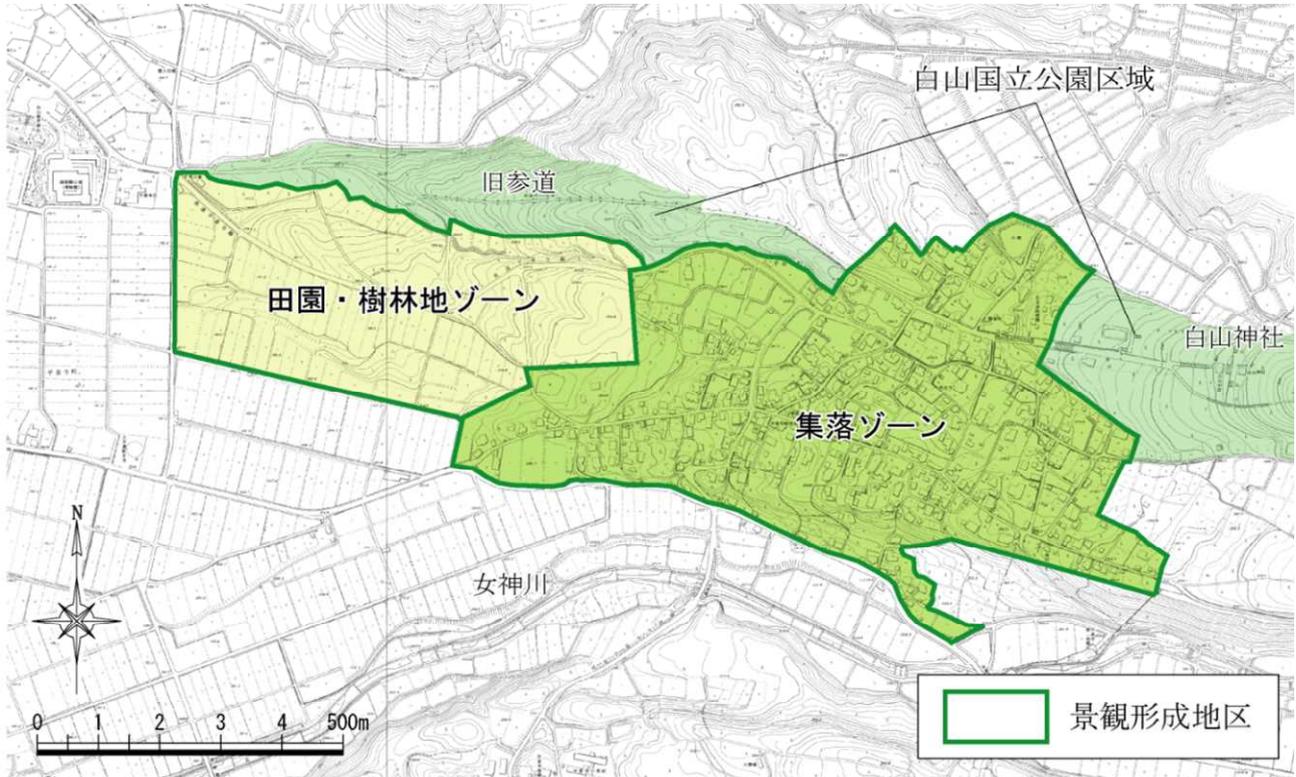


図3-6. 平泉寺区景観形成地区の区域

(今後の課題)

中世、白山平泉寺旧境内の南北にある谷には、多数の坊院が建っていたと伝えられています。石畳道によって整然と区画され、側溝も設けられていました。敷地は、緩斜面を階段状に切り盛りし、石を積んで作り出されるなど、計画的にまち並みが整備されていました。

中世の宗教都市の面影が残る平泉寺地区とともに、歴史的な史跡の保全とあわせ、豊かな自然や歴史性を生かした施設づくり、平泉寺固有の石と緑を基調とした情緒豊かな景観づくりを促進します。

■ 平泉寺区の景観を形成している取り組み事例



写真 3-41.勝山城博物館付近から見る  
平泉寺の田園・樹林地



写真 3-42.集落の様子



写真 3-43.傾斜地につくられた集落



写真 3-44.道路に面した石垣と生垣



写真 3-45.伝統的建築物の住宅



写真 3-46.伝統的建築物の住宅



写真 3-47.伝統的建築物の住宅



写真 3-48.景観に配慮した車庫の外観



写真 3-49.バス待合所



写真 3-50.集落に多い里道



写真 3-51.景観に配慮した電波塔



写真 3-52.景観に配慮したホース収納庫

■ 平泉寺区周辺の景観を形成している取り組み事例



写真 3-53.菩提林入り口



写真 3-54.南谷遺跡地



写真 3-55.南谷遺跡地にある復元した門・土塀



写真 3-56.発掘前の散策路

### (3) その他の地区

その他の地区のうち③～⑫の地区については、景観の保全や景観形成のためのルールづくりを支援し、景観形成地区の指定を目指します。また⑬の地区については、都市計画法による地区計画の指定により土地利用の制限と景観形成の誘導が行われています。

#### ③ 法恩寺山リゾート地区

(関連する分類別景観：山地景観・リゾート軸景観)

法恩寺山リゾートは、勝山市を代表する自然リゾート地であり、一年を通じて自然を満喫でき、特に冬には純白の雪の世界が広がる中でスポーツを満喫できるため、多くの人々が訪れています。

自然豊かなこのリゾート地は、四季を感じる主対象であり、勝山盆地が一望できる視点場でもあります。

リゾート開発に当たっては許可制度による基準や勝山市と勝山高原開発株式会社が平成7年(1995)に締結した環境保全協定書により、建物の高さを制限したり、敷地に対して余裕のある施設配置を行うなど自然環境との調和を図りながら開発を進め、リゾート地に相応しい景観の形成を進めてきました。

今後も環境保全協定の基準による自然環境の保全と施設配置を誘導し、美しいリゾート地景観の形成を促進します。



写真 3-57.法恩寺山リゾート地から見る勝山盆地

(図 2-3 眺望景観⑧)



写真 3-58.植生を配慮した花畑

#### ④ かつやま恐竜の森(長尾山総合公園)地区

(関連する分類別景観：リゾート軸景観)

かつやま恐竜の森(長尾山総合公園)は、里山文化を活かした「地域振興や文化的拠点の場」として、平成9年(1997)に都市公園として135haが都市計画決定され、良好な自然環境と調和した公園整備を進めてきました。平成12年(2000)に開館した福井県立恐竜博物館を中心的公園施設に据えて、令和元年(2019)度には年間90万人を超える来園者を迎えています。

リゾート軸である市道5-21号線からかつやま恐竜の森(長尾山総合公園)を見ると、福井県立恐竜博物館は、森の中の大きな「タマゴ」(主対象)として目に止まります。森の中に入ると、多くの動植物が確認でき、平成15年(2003)にはその豊かな自然が評価され、「守り伝えたい福井の里地里山30」に選ばれています。

今後、福井県立恐竜博物館の機能強化や、民間活力を生かした再整備などにより更なる賑わいの増進と、滞在型観光の推進を図りますが、施設の整備においては、緑豊かで自然と調和した景観の保全と共存を図ります。



写真 3-59.福井県立恐竜博物館



写真 3-60.里山散策

## ⑤ 幹線道路沿い眺望景観保全地区

(関連する分類別景観：田園集落景観・導入軸（広域幹線道路軸）景観)

国道416号を福井方面から勝山市に入ると、九頭竜川と広がりのある田園空間と雄大な山並みが一体的に眺望でき、また、国道157号からは、越前大仏や菩提林が望めます。

これら勝山市を印象付ける眺望景観の優れた幹線道路沿いの地区を視点場とした、美しい眺望景観を後世に残すため、平成22年(2010)12月に特定用途制限地域<sup>※</sup>の指定による土地利用の制限を行いました。

今後も眺望景観に配慮し、無電柱化等の検討や周辺の景観と調和する道路付属物の設置、屋外広告物の適正な誘導を行い、良好な視点場としての整備を図ります。

※特定用途制限地域：都市計画法で定められた地域地区の1つで、用途地域の指定のない土地において良好な環境の維持・形成を図るため、特定の用途の施設等の建設が制限される地域。



写真 3-61. 国道 416 号から見る加越山地  
(図 2-3 眺望景観⑥)

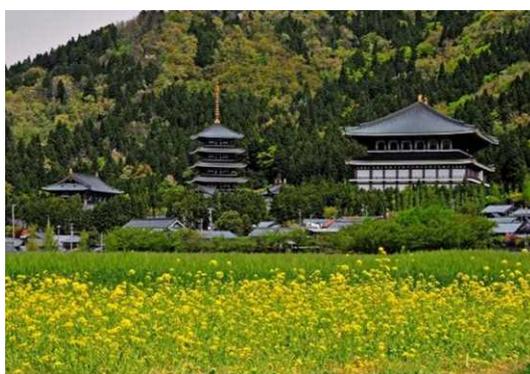


写真 3-62. 国道 157 号から見る越前大仏  
(図 2-3 眺望景観③)

## ⑥ 勝山駅周辺地区

(関連する分類別景観：都市軸景観)

勝山駅周辺は、大正3年(1914)に京都電灯により北陸初の電気鉄道が整備されて以来、勝山市の鉄道玄関口として位置付けられてきました。

勝山市は、平成20年(2008)からえちぜん鉄道の利用促進と、交通結節点の強化を図るため、福井県の支援を受けながら、勝山駅周辺整備に取り組みました。

勝山駅周辺の核となる勝山駅舎は、大正3年(1914)に建築されたもので、国の登録有形文化財に指定されています。勝山駅周辺においては、主対象である勝山駅舎と調和した景観の形成を図ります。市街地に通じる県道勝山停車場線沿いは、町家の建物が並び、落ち着いたまち並みの保全と市街地への導入軸としての景観形成を図ります。



写真 3-63. 県道勝山停車場線沿い



写真 3-64. 勝山駅舎

## ⑦ 勝山インターチェンジ周辺地区

(関連する分類別景観：田園集落景観・導入軸（広域幹線道路軸）景観)

中部縦貫自動車道の勝山インターチェンジは、勝山市の新たな玄関口です。中部縦貫自動車道を福井方面から保田集落にさしかかると、白山方面の眺望景観が広がり、勝山市の新たな風景スポット(視点場)となっています。さらに勝山インターチェンジ周辺では、広がりのある田園の中に集落が点在する良好な景観を見ることができます。

勝山インターチェンジ周辺の良好な集落景観を保全するため、特定用途制限地域の指定(平成22年(2010)12月)による土地利用の制限を行いました。県道勝山インター線沿いの良好な景観と調和した整備を誘導します。

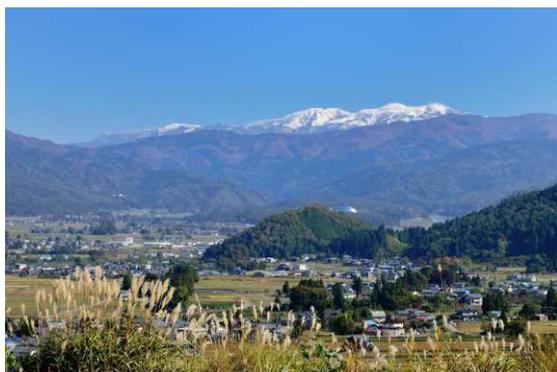


写真 3-65.中部縦貫自動車道から見る白山方面

(図 2-3 眺望景観③)



写真 3-66.広がりのある田園の中の集落

(図 2-3 眺望景観④)

## ⑧ 旧木下家住宅周辺地区

(関連する分類別景観：田園集落景観・歴史軸景観)

旧木下家住宅は、江戸時代後期の民家で、建築されて170年以上が経過した勝山市を代表する歴史的建造物の一つです。この建物は、平成22年(2010)に国の重要文化財に指定され、勝山市が保存管理しています。

旧木下家住宅が位置する北郷町上野区の集落内には、石積みや生垣が多く見られ、落ち着いた集落景観を形成しています。また、旧木下家住宅の周辺には、市指定の記念物となっている畑ヶ塚(伊知地古戦場)や岩屋の大杉があり、今後は、岩屋川の清流とのつながりの中で、歴史的な景観に配慮した一体的な景観形成を図ります。



写真 3-67.北郷町上野区



写真 3-68.旧木下家住宅

## ⑨ 弁天緑地周辺地区

(関連する分類別景観：河川軸景観・都市軸景観)

弁天緑地周辺を視点場として、九頭竜川の流れと加越の山々や経ヶ岳、荒島岳等を一体的に望むことができます。また、九頭竜川の両岸に広がる緑地と南北約 1.5km におよぶ弁天桜は、市民の散策路として親しまれ、平成21年(2009)に行った市民アンケートからも、勝山橋周辺からの風景が高い評価を得ています。

これらの風景の重要な要素となる九頭竜川及び弁天緑地は、景観重要公共施設であり、景観に配慮した適切な施設配置と維持管理を行い、また弁天桜の保全を図ります。



写真 3-69.弁天緑地から見る越前甲(大日山)  
(図 2-3 眺望景観⑩)



写真 3-70.弁天緑地から見る荒島岳  
(図 2-3 眺望景観⑪)

## ⑩ 北谷地区

(関連する分類別景観：山地景観)

北谷町の谷区や小原区等は、斜面を利用して建てられた伝統的な佇まいと自然が調和した特徴的な山間集落景観を形成しています。しかし、一方で、豪雪等の厳しい自然環境もあり、勝山市内においても人口減少が進んでいる地区となっています。

今後、この地域にしかない自然や歴史等の風景を貴重な資源としてとらえ、地域住民とともに景観の保全と活用を図ります。



写真 3-71.小原区の間山集落景観



写真 3-72.木根橋区での豪雪

## ⑪ 越前大仏周辺地区

(関連する分類別景観：田園集落景観・導入軸（広域幹線道路軸）景観)

越前大仏の背景となる大師山は、「師山の秋月」として幕末から明治の初めにかけてつくられた勝山八景にも登場しています。また、勝山城博物館周辺においては、良好な農地が広がっており、平泉寺への入り口となる菩提林やそこから広がる岡横江方面の扇状地の田園風景と一体となった風景を見ることができ、勝山市を印象付ける風景の一つとなっています。

越前大仏や勝山城博物館周辺においては、これらの農地や林地の保全を図り、主要な回遊ルートにおける屋外広告物等について景観に配慮した適正な誘導を進めます。



写真 3-73.片瀬から見る越前大仏と大師山  
(図 2-3 眺望景観③)



写真 3-74.平泉寺町平泉寺から見る  
勝山城博物館と田園(図 2-3 眺望景観⑤)

## ⑫ えちぜん鉄道車窓からの眺望景観保全地区

(関連する分類別景観：田園集落景観・導入軸（広域幹線道路軸）景観)

えちぜん鉄道車窓からの眺望景観は、「日本の鉄道車窓絶景 100 選」に選ばれるなど、市内外から高く評価されています。えちぜん鉄道の車窓からのシークエンス景観※として、九頭竜川の自然景観や沿線集落の景観を守り育てます。

※シークエンス景観：移動しながら眺める連続する景観。



写真 3-75.小舟渡駅周辺から見る白山方面  
(図 2-3 眺望景観①)



写真 3-76.保田駅周辺から見る白山方面  
(図 2-3 眺望景観②)

⑬ 恐竜渓谷かつやまエリア地区（道の駅「恐竜渓谷かつやま」周辺）

（関連する分類別景観：導入軸（広域幹線道路軸）景観）

本地区は、勝山市の玄関口の一つである中部縦貫自動車道から県道勝山インター線を北進した、一級河川九頭竜川の右岸に位置しており、福井県立恐竜博物館、スキージャム勝山、国史跡白山平泉寺旧境内など市内の観光地やまちなかへの周遊を促す交流拠点です。

本地区では、賑わいのあるエリアの実現を目指し、道の駅「恐竜渓谷かつやま」を補完する機能の適正誘導を図るとともに、背後に連なる白山連峰への眺望景観等との調和を図るため、令和5年（2023）3月に地区計画<sup>\*</sup>の指定による土地利用の制限を行い、まちの新たな玄関口にふさわしい景観形成を進めます。

※地区計画：共通した特徴を持っている場所を範囲とする「地区」を単位として、道路や公園等の配置や、建築物等の用途、形態等に関する事項を一体的に定める計画。



写真 3-77.道の駅「恐竜渓谷かつやま」と背後に広がる白山連峰（図 2-3 眺望景観⑤）



写真 3-78.道の駅「恐竜渓谷かつやま」